

1 ビルド環境

1.1 FW

(1)下記のバージョンの Arduino IDE を Windows にインストール。

arduino-ide_2.3.6_Windows_64bit.exe

(2)src_fw フォルダ内の PicoBrg フォルダを PC の適当な場所にコピー。

(3)PicoBrg フォルダ内の PicoBrg.ino を Arduino IDE で開く。

(4)「ファイル」⇒「基本設定」で、「追加のボードマネージャの URL」に下記を入力する。

https://github.com/earlephilhower/arduino-pico/releases/download/global/package_rp2040_index.json

基本設定

設定 ネットワーク

スケッチブックの場所:
c:\Users\desk\Documents\Arduino 参照

☐ スケッチ内のファイルを表示

エディターのフォントサイズ: 14

インターフェイスのスケール: ☒ 自動 100 %

配色テーマ: Light

エディター言語: 日本語 (Reload required)

より詳細な情報を表示する ☒ コンパイル ☐ 書き込み

コンパイラの警告 なし

☐ 書き込み後にコードを検証する

☐ 自動保存(U)

☐ エディターのクイックサジェスト

追加のボードマネージャのURL: https://github.com/earlephilhower/arduino-pico/releases/download/global/packa... 📄

キャンセル OK(O)

(5)下記のボードマネージャをインストール。

※念のため、バージョンも合わせる。

Raspberry Pi Pico/RP2040/RP2350 by Earle F. Philhower, III
4.5.2 installed
Boards included in this package: Raspberry Pi Pico, Architeuthis Flux Jumperless, VCC-GND YD RP2040, Pimoroni Tiny2350, Waveshare RP2040 LCD 0.96, WIZnet...
[詳細情報](#)
4.5.2 ▼ 削除

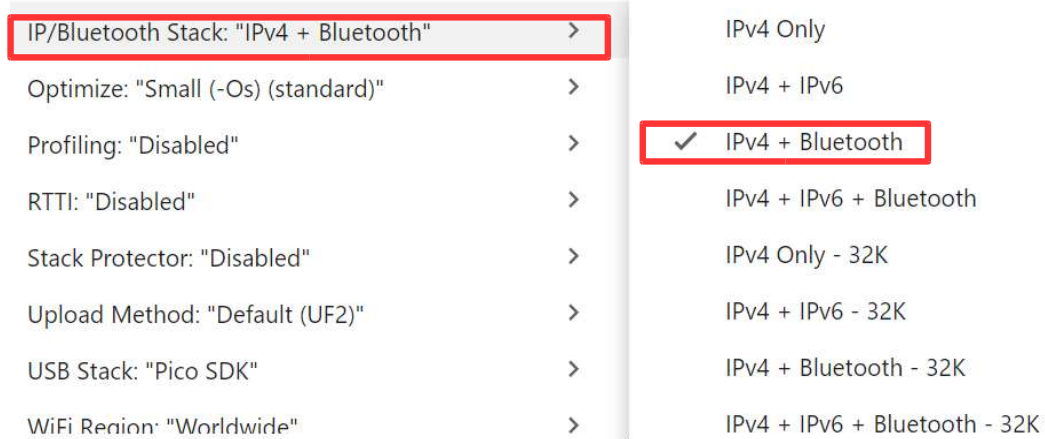
(6)下記の通り、ボードとポートを選択する。

ボード:「ツール」⇒「ボード」⇒「Raspberry Pi Pico/RP2040/RP2350」⇒「Raspberry Pi Pico W」

ポート:Pico WのCOM番号を選択。

ツール ヘルプ(H)
自動整形 Ctrl+T
スケッチをアーカイブする
ライブラリを管理... Ctrl+Shift+I
シリアルモニタ Ctrl+Shift+M
シリアルプロッタ
Firmware Updater
SSLルート証明書を書き込み
ボード: "Raspberry Pi Pico W" ▶
ポート: "COM3" ▶
ボード情報を取得
Debug Level: "None" ▶
Debug Port: "Disabled" ▶

(7)「ツール」⇒「IP/Bluetooth Stack」で、「IPv4 + Bluetooth」を選択。



(8)「スケッチ」⇒「検証・コンパイル」

1.2 PC アプリ

Visual Studio2022(C#)